

争論

こだわる生協、広がる生協

1. こだわるコープ自然派奈良は、どう広げようとしているのか
辰巳 千嘉子

2. 広がるいずみ市民生協は、どのようにこだわろうとしているのか
勝山 暢夫

利益だけを追求する経営体であれば、ひたすら大きくなることをめざせばいいのかもしれない。学者であれば、一心不乱に真理をもとめ、正しい道を追求するだけで許されるだろう。

しかし協同組合は、事業を通して目的を達成するための組合員組織である。ここでは必然的に、こだわりを大切にし、しかも広がりをもとめるという、相矛盾するかのような問題を解決することが要請される。

世界各国では、従来地域で分かれていた中小生協の統合が進み、全国の生協事業・運動を統合する大規模単一生協が生

まれている国もあるが、現在のところ日本の生協は、地域別に分かれているだけでなく、それぞれの地域に、広く消費者が結集する大規模生協と、こだわりを売りにする小規模生協とが混在するという状況にある。

それぞれの生協は何にどのようにこだわり、それをどう広げようとしているのか。こだわりを広げるために、また広がりによってこだわりをもたせるために、必要なことは何だろうか。コープ自然派奈良と、大阪いずみ市民生協から、貴重なお話を伺った。

(本誌編集長 杉本貴志)



コープ自然派の『ポストティ』



いずみ市民生協の『バスケット』